Agilent CrossLab
From Insight to Outcome

Agilent CrossLab スタートアップサービス

Agilent OpenLab ECM XT Server 2.7 / OpenLab Server 2.7 ソフトウェア設置準備チェックリスト

アジレント・テクノロジーのソフトウェアをご購入いただき誠にありがとうございます。CrossLab スタートアップは、ご購入いただいた機器システムの性能を迅速かつ最大限にご利用いただけるよう、お客様を支援することに重点を置いています。

機器とソフトウェアを長期にわたって安定的に運用するためには、適切な設置場所の準備が必要です。このチェックリストには、ラボでシステムをセットアップする際に必要なソフトウェア要件がまとめられていますので、**事前準備のガイド、およびチェックリスト**としてご利用ください。

リビジョン：A.01 発行日：2022 年 5 月
文書番号：D0019566ja
© Agilent Technologies, Inc. 2022

___ / ___

Agilent

はじめに

ご注意（必ずお読みください）

- 下記「お客様へのお願い」に不明点などがございましたら、担当の代理店もしくはアジレントにご連絡ください。また、設置場所の準備状況によっては作業日程を変更する場合がありますので、ご了承ください。
- 何らかの事情により設置場所の準備が作業日までに整わない場合は、日程を調整する必要がございますので、速やかに担当の代理店またはアジレントまでご連絡くださいますようお願いいたします。
- 標準操作説明に含まれない説明、運転時適格性評価（OQ）、およびお客様のアプリケーションのコンサルティングなどをご希望される場合は、別途契約が必要となりますので担当営業にご相談ください。

お客様へのお願い

インストールの前日までに、以下の内容についてご確認ください。詳細については、チェックリスト内の各セクションを参照してください。

- **コンピューターの使用環境**と設置スペースの確保
- コンピューターシステムおよび周辺機器に対応する**電源コンセント**が適切な場所に必要な数だけ用意されていること
- お客様の**ソフトウェア、ハードウェア、およびネットワーク**が本書の仕様を満たしていること
- 必要なソフトウェア認証コード、ソフトウェアライセンス、ソフトウェア証明書などがあること
- お客様のシステムに、適切な修正プログラム、Microsoft 更新プログラム、パッチが適用されていることを確認
  重要：お客様が PC を用意する場合は、インストールを開始する前にお客様にて最新の Windows バージョン および Microsoft 更新プログラムを PC にインストールしておく必要があります。
- アップグレードやアップデート用のディスクを含め、必要な**ソフトウェアメディア**やディスクなどが使用できること
- ソフトウェアに適切な**バックアップソリューション**が準備できていること

リビジョン：A.01 発行日：2022 年 5 月
文書番号：D0019566ja
© Agilent Technologies, Inc. 2022

- **インストール作業および取り扱い説明の際には、**機器システムのご担当者の立ち合いをお願いしております。ご不在の場合、重要な操作やメンテナンス、安全性に関する情報をお伝えできなくなりますのでご注意ください。
- イントラネットに接続する際は、必要に応じて**システム管理者またはネットワーク管理者**が対応できること
- その他、製品固有の情報については、**「その他の重要な要件」**を参照してください。
- 詳細については、『Agilent OpenLab Server および OpenLab ECM XT ハードウェアおよびソフトウェア要件ガイド』（ECM_XT_v2.7_HardwareSoftwareRequirements_ja.pdf）を参照してください。

Agilent Web サイト

- オンライントレーニングおよびオンサイトトレーニングについては、**トレーニングとイベント**（https://www.chem-agilent.com/customertr/）にアクセスしてご確認ください。トレーニングの担当者が直接お客様と一緒に、最適なトレーニングを決定するお手伝いをすることも可能です。
- **Agilent Resource Center** ウェブページは、https://www.agilent.com/en-us/agilentresources からアクセスしてください。以下のトピックが利用できます。
    - Sample Prep and Containment（サンプル前処理およびサンプル容器）
    - Chemical Standards（標準物質/標準試料）
    - Analysis（分析）
    - Service and Support（サービスとサポート）
    - Application Workflows（アプリケーションワークフロー）
- **Agilent Community** は、質問の回答を得たり、アプリケーションやアジレント製品について他のユーザーと連携したり、アジレントの技術関連の詳細なドキュメントやビデオを検索したりできる便利なサイトです。https://community.agilent.com/welcome からアクセスしてください。
- 機器の設置に必要となる準備のビデオも利用できます。**Agilent YouTube** チャンネル（https://www.youtube.com/user/agilent）を検索してご覧ください。
- **カストマコンタクトセンターへのお問い合わせ：**サービスと修理 | Agilent ウェブサイト または http://www.agilent.com/chem/contactus:jp をご覧ください。

リビジョン：A.01 発行日：2022 年 5 月
文書番号：D0019566ja
© Agilent Technologies, Inc. 2022

- **Agilent Software Service Desk** には、https://servicedesk.li.agilent.com/plugins/servlet/desk からアクセスしてください。有効なソフトウェアメンテナンス契約（SMA）をお持ちのユーザーは、ここからサポートリクエストを送信したり、リクエストのステータスを確認したりできます。
- **Agilent SubscribeNet** には、https://agilent.subscribenet.com からアクセスしてください。SubscribeNet は、オンラインのソフトウェアおよびライセンスデリバリーのサイトです。最新版ソフトウェアの入手や、購入済みライセンスの管理を容易に行うことが可能です。

設置準備

ソフトウェア仕様
クライアント / サーバー

特記事項

- 機器ハードウェアを含むシステムを購入されている場合、ハードウェアおよび周辺機器の設置準備チェックリストを参照して、ラボの設置スペースに関する要件もご確認ください。
- 以下の項目に関しては、『Agilent OpenLab Server および OpenLab ECM XT ハードウェアおよびソフトウェア要件ガイド』（ECM_XT_HardwareSoftwareRequirements_ja.pdf）で詳細を確認してください。
    - ライセンス
    - 仮想マシン
    - 言語の互換性

リビジョン：A.01 発行日：2022 年 5 月
文書番号：D0019566ja
© Agilent Technologies, Inc. 2022

ソフトウェア項目	サーバー	クライアント
オペレーティングシステム、バージョン	Windows 2016 Server（Standard、Datacenter）、64 ビット、1607 以降 Windows 2019 Server（Standard、Datacenter）、64 ビット、1809 以降	Windows 10（Professional/Enterprise）、64 ビット、20H2 以降 Windows 11（Professional/Enterprise）、64 ビット、21H2 Windows 2016 Server（Standard/Datacenter）、64 ビット、1607 以降 Windows 2019 Server（Standard/Datacenter）、64 ビット、1809 以降
データベース	MS SQL Server 2016 SP2（64 ビット）、CU 17 以降 MS SQL Server 2017（64 ビット）、CU 24 以降 MS SQL Server 2019（64 ビット）、CU 10 以降 PostgreSQL Server 14.x（64 ビット） Oracle 19c（64 ビット）	
インターネットブラウザ	Microsoft Chromium Edge 64 ビット Google Chrome 64 ビット	Windows 10 に付属の Microsoft Chromium Edge 64 ビット Google Chrome 64 ビット v40 以降
.NET Framework	.NET Framework 3.5 および 4.x（64 ビット） .NET Core 3.1.x、5.x および 6.x（64 ビット）	.NET Framework 3.5 および 4.x（64 ビット） .NET Core 3.1.x、5.x および 6.x（64 ビット）
その他のソフトウェア	PDF リーダー	PDF リーダー

リビジョン：A.01 発行日：2022 年 5 月
文書番号：D0019566ja
© Agilent Technologies, Inc. 2022

コンピューターのハードウェア仕様
サーバー

特記事項

- 以下はオールインワンシステムで推奨されるハードウェアです。
- ホストマシンは、OpenLab ECM XT 専用のサーバーにすることをお勧めします。
- 推奨ディスク容量は、推奨の最大機器数で 4 年間運用する場合の推定です。実際に必要なディスクサイズは、利用計画に基づいて算出してください。
- 2 台サーバーソリューション、4 台サーバーソリューションまたはスケーラブルシステムについては、『Agilent OpenLab Server および OpenLab ECM XT ハードウェアおよびソフトウェア要件ガイド』（ECM_XT_v2.7_HardwareSoftwareRequirements_ja.pdf）を参照してください。

ハードウェア項目	小規模システム	中規模システム	大規模システム
プロセッサのタイプと速度	1 x CPU – 2.6 GHz 以上 最小 8 vCPU	2 x CPU – 2.6 GHz 以上 最小 16 vCPU	2 x CPU – 2.6 GHz 以上 最小 16 vCPU
最小メモリ	16 GB	24 GB	48 GB
ディスク（OS およびソフトウェア）	2 x（100 GB 7.2 k rpm RAID 1）	2 x（300 GB 15 k rpm RAID 1）	2 x（600 GB 15 k rpm RAID 1）
ディスク（データ）	2 x（100 GB 7.2 k rpm RAID 1）	3 x（500 GB 7.2 k rpm RAID 5）	3 x（1 TB 7.2 k rpm RAID 5）
ネットワーク	1 GB	1 GB	1 GB
オペレーティングシステムおよびデータベース	Windows Server 2016 または 2019 PostgreSQL 14.x SQL Server 2016、2017、または 2019 注記：Oracle はサポートされていません	Windows Server 2016 または 2019 PostgreSQL 14.x SQL Server 2016、2017、または 2019 注記：Oracle はサポートされていません	Windows Server 2016 または 2019 PostgreSQL 14.x SQL Server 2016、2017、または 2019 注記：Oracle はサポートされていません

リビジョン：A.01 発行日：2022 年 5 月
文書番号：D0019566ja
© Agilent Technologies, Inc. 2022

ネットワーク仕様

特記事項

- OpenLab ECM XT では、標準 TCP/IP プロトコルを使用して、サーバーとクライアントコンピューター間で通信を行います。最適なパフォーマンスを得るために、ネットワークは、利用可能な帯域幅、IP アドレスの割り当て、名前解決、および社内ネットワークからラボのサブネットの適切な分離について、設計基準を満たしている必要があります。
- すべての製品で TCP/IP ネットワークが必要です。
- 広域ネットワーク (WAN) はサポートされていません。
- 以下の項目に関しては、『Agilent OpenLab Server および OpenLab ECM XT ハードウェアおよびソフトウェア要件ガイド』（ECM_XT_v2.7_HardwareSoftwareRequirements_ja.pdf）で詳細を確認してください。
    - 通信方法
    - LAN 電源の管理
    - 規制対応システムの要件
    - ドメインのガイドライン
    - ファイアウォールの設定：外部のファイアウォールを使用する場合、お客様の IT 部門でポートを開いていただく必要があります。

ネットワーク項目	コメント
ネットワークのタイプ、帯域幅、速度、プロトコルなど	インターネットプロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4) のみ インターネットプロトコルバージョン 6 (TCP/IPv6) はサポートされていません。
IP アドレス	固定 または DHCP 予約

© Agilent Technologies, Inc. 2022

ECM XT アドオン（該当する場合のみチェック）

アドオンは、Content Management クライアントをインストールしている、ECM XT ライセンスで OpenLab Server を実行している環境にのみインストールできます。

ECM XT Import Scheduler

ソフトウェア要件（上記のソフトウェア要件に加えクライアントで必要）

☐ OpenLab Content Management クライアント

ハードウェア要件

☐ インストール用のディスク空き容量：最小 500 MB

☐ ファイルキャッシュ用のディスク空き容量：最小 250 GB

☐ RAM：最小 8 GB、推奨 16 GB

ECM XT Import Services

ソフトウェア要件（上記のソフトウェア要件に加えクライアントで必要）

☐ OpenLab Content Management クライアント

ECM XT テンプレートプラグイン（Adobe Acrobat 用）

ソフトウェア要件（上記のソフトウェア要件に加えクライアントで必要）

☐ OpenLab Content Management クライアント

☐ Adobe Acrobat Classic 2017（32 ビット）または Adobe Acrobat DC（32 ビット）Continuous 版（PDF テンプレートプラグインのアドオンに必要）

リビジョン：A.01 発行日：2022 年 5 月
文書番号：D0019566ja
© Agilent Technologies, Inc. 2022

サービスエンジニアの確認（オプション）

サービスエンジニアがお客様と一緒に設置準備の要件を確認した場合は、サービスエンジニアが以下のコメント欄に記入します。

サービスエンジニアのコメント

設置準備についての特記事項や、お客様へのお知らせを記入します。

設置準備の完了/署名

サービスリクエスト番号：	実施日：
サービスエンジニア氏名：	お客様氏名：
サービスエンジニア署名：	本文書のページ数：

リビジョン：A.01 発行日：2022 年 5 月
文書番号：D0019566ja
© Agilent Technologies, Inc. 2022